

1市町村1国フレンドシップ事業

1市町村1国フレンドシップ事業とは、県内の市町村が公式参加国のホームシティー・ホームタウンとなり、万博会場だけでなく、地域を挙げて公式参加国を暖かく迎え入れ、相互国際交流の推進を図るものです。

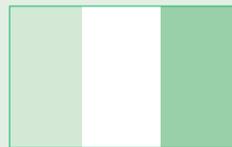
安城市は、デンマーク王国、アフリカのコートジボワール共和国、オーストラリア連邦、アメリカ合衆国の4か国のホームシティーとして決定しました。なお、オーストラリアは大府市と、また、アメリカは豊橋市・豊田市との共同参加になります。

具体的には次の事業を予定しています。

- パネルなどによるフレンドシップ相手国の紹介
- 相手国政府関係者などを安城市へ招き、市民の皆さんの協力による「草の根交流」
- 会期中に万博会場で開催される相手国のナショナルデー（公式行事・公式催事）への参加
- 歴史博物館でデンマーク交流展を開催するなど、相手国にちなんだ企画展の開催



①デンマーク王国
面積 4.3万km²
(九州とほぼ同じ)
人口 537万人
言語 デンマーク語



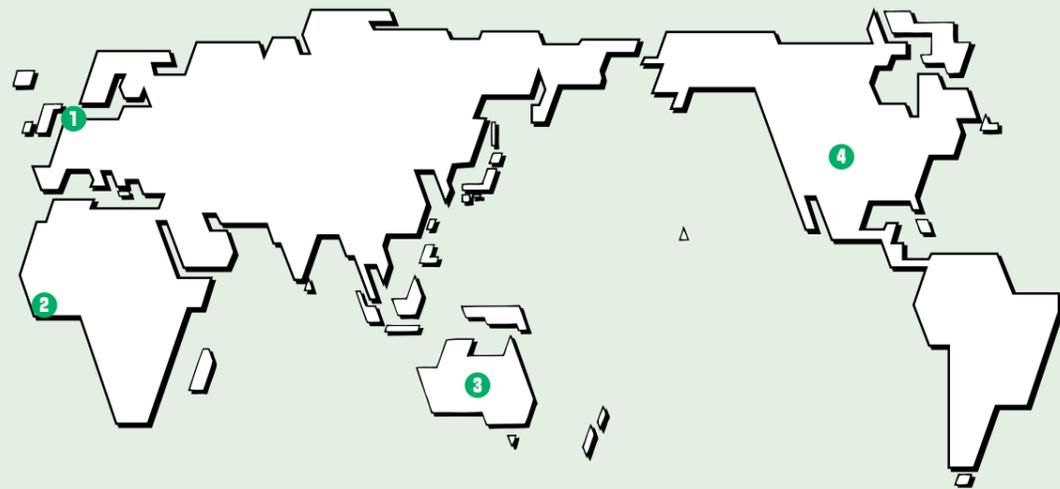
②コートジボワール共和国
面積 32.2万km²
(日本の約0.9倍)
人口 1600万人
言語 フランス語



③オーストラリア連邦
面積 769.2万km²
(日本の約20倍)
人口 1971万人
言語 英語



④アメリカ合衆国
面積 962.8万km²
(日本の約25倍)
人口 2億8142万人
言語 英語



先月18日にデンパークを訪れたコートジボワール政府関係者とプレゼントされた民族衣装を身にまとう神谷安城市長

コートジボワールってどんな国？

コートジボワールは、地図にあるようにアフリカ西海岸に位置し、国名はフランス語で「象牙海岸」という意味です。1960年にフランスから独立しました。

農業国で、カカオの生産量は世界1位、コーヒーは世界6位となっています。平均寿命は44.72歳と低く、1人当たりの年間所得は日本円換算で6万7000円ほどです。

外交的には、国家建設の模範として日本をあげるなど、とても親日的です。

市役所北庁舎1階ロビーでフレンドシップ相手国をパネルで紹介しています。



愛地球博



開催まであと1年

フレンドシップ相手国が決定

愛・地球博で世界中の人をもてなしましょう

21世紀最初の国際博覧会「愛・地球博」は、来年3月25日～9月25日まで185日間「自然の叡智」をテーマに長久手町、瀬戸市を中心とした名古屋東部丘陵で、125か国・8国際機関（3月1日現在）の参加のもとに開催されます。

市も、1市町村1国フレンドシップ事業をはじめ、さまざまな事業を企画し、世紀の祭典である「愛・地球博」を積極的に支援していきます。



主な事業の取り組み

●地域連携プロジェクト事業

プレ万博事業として、平成16年度に実施するもので、「愛・地球博」の開催気運の盛り上げと博覧会を契機とした地域の振興・発展を図ります。

取り組みとしては、「米米フォーラムin三河安城」を開催し、70か国の駐日外交官らを招待し、市民の手作りによる国際交流を行います。また、西三河各市町と連携し、グリーンマップ（環境マップ）を作成し、ホームページを立ち上げる予定です。

●市町村催事

愛知県パビリオン内の「あいち・おまつり広場」で、「市町村の日」として、会期中に1日間、安城市をPRする日があります。安城の一大観光イベントである七夕まつりを基調とした竹飾り、郷土芸能の披露や特産物の展示販売を企画していきます。

万博豆知識「万博とテーマ」

万博でテーマが初めて採用されたのは1933年のシカゴ万博で、テーマは「進歩の世紀」。それ以降、万博でテーマを設けることが一般化し、1970年の大阪万博のテーマは「人類の進歩と調和」でした。

愛知万博のテーマは何でしょう？知っていますよね、「自然の叡智」。このテーマのもと、愛知万博では、わたしたちの愛する地球をもっともっと素晴らしい形で子孫に引き継ぐために、世界各地での自然とのさまざまな付き合い方を世界中から持ち寄り、その知恵に学びながら交流しようとしているのです。

愛知万博では、「宇宙、生命と情報」「人生の“わざ”と知恵」「循環型社会」という3つのサブテーマもあります。やはり、どれも地球や自然に深い関わりがありますね。